

令和7年度 事業報告

令和7年度の事業は、令和7年3月31日に開催した第57回理事会において決議した事業計画及び予算に基づき実施した。

令和7年6月30日付で辞任した山崎昭彦理事（聖ドミニコ学園 理事長・学園長）の後任として、田代正行氏（立教小学校 校長）を令和7年12月9日開催の第42回評議員会において定款に基づき選任した。

1. 研修事業

（1）各種研修会事業

当会が主催し、私学関係団体の協力・実施で34回の研修会を学校種別で以下のとおり開催した。

・大学関係	14回（参加者 2,830人）
・短期大学関係	2回（参加者 362人）
・高校、中学校関係	-回（参加者 -人）
・小学校関係	9回（参加者 4,649人）
・幼稚園関係	9回（参加者 7,699人）

（2）研修成果刊行等事業

研修事業の環境整備の充実を図る一環として、オンラインやハイブリッド形式での円滑な研修実施を推し進めるために関連備品の購入を実施した。

2. 福祉事業

令和7年度は、慢性的な人手不足に加え資源価格や人件費の上昇、国内外の流通への不安などの課題が山積している一方で、訪日外国人客数が過去最高を記録するなど、ホテル業界における需要は回復から成長へ移行し、全体的には市場拡大の様相となった。

福祉事業においては、著しい社会の変化や各業界の動向に注視し、DX・AIなどの活用を念頭に置き、収益性の高い運営と顧客満足度の向上に尽力した。

令和7年度の利用人数は443,685人となり、前年度比では8,197人増加となった。

（１）バンケット業務

令和７年度は、依然として収束の見通しが立たない物価上昇や慢性的な人手不足と対峙するなか、社会や業界の動向を捉えた営業を展開し、ニーズに応じた研修会や会議・宴会など多くの利用件数を獲得した。

営業状況については、年次の売上・件数・人数すべての項目において、前年度実績を上回った一方、月次においては、目標値に届かない項目も散見でき、各月単位でも目標を達成するには、繁忙期及び閑散期における予約管理の検証と施策が必要であると改めて認識した。

（利用人数：280,781人）

（２）レストラン業務

通年の事業展開として、季節ごとの特色ある魅力的なメニューや限定企画商品を打ち出し、新規客獲得と顧客満足度向上に努めた。一方で、ホームページやグルメサイト、SNS など各種媒体への情報発信をより一層広げ、Web 経由の予約獲得も積極的に進めることで、リピーターの利便性向上を図りながら予約客の早期囲い込みを実現し、レストラン部門単体での営業安定化を目指した。年次実績では店舗合計の来店人数と売上は予算・前年実績を下回ったものの、継続的に増収策を講じた。

（利用人数：132,680 人）

（３）宿泊業務

令和７年度は、訪日外国人客数が過去最多を更新し、国内需要についても安定的かつ上昇傾向が見られるなか、インターネット予約や旅行代理店経由によるスポーツ関連団体の予約受注に対する取り組み等、多岐にわたる施策を講じたことで過去最高の業績を収めた。

客室販売価格については、適正値を他社との比較も含め検討し、10 月より大幅な価格改定を実施した。（素泊り料金 9.2%～30.8%増加、朝食付料金 8.2%～29.1%増加）

（利用人数：30,224 人）